

落雷等による生産ラインの停止を回避

瞬低・停電対策ソリューション

リーディングメーカーとして最適な対策をご提案

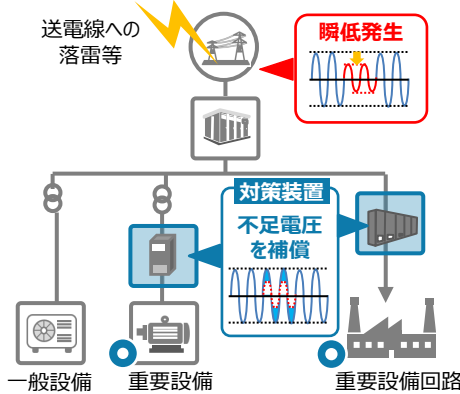
瞬時電圧低下（瞬低）は、送電線への落雷等により電圧が低下する現象です。近年、生産設備は精密化しており、瞬低の影響を受けやすくなっています。設備停止に至らしめる系統異常現象の大半は、瞬低による影響ともいわれています。

当社は、1987年に世界で初めてコンデンサ採用の瞬低対策装置を販売。多重雷（連続瞬低）に強い瞬低対策専用タイプ、瞬低と停電の両方を補償できる瞬低/停電対策タイプ、発電機も同時に保護できる発電機連系タイプなど、多彩なラインアップでお客様の生産ラインを守ります。

▶ 瞬低時の不足電圧を瞬時に補償

瞬低を検知すると即座にコンデンサから低下分の電圧を加算し、電源品質を維持

瞬低対策装置（ユニセーフ・メガセーフ）の導入イメージ

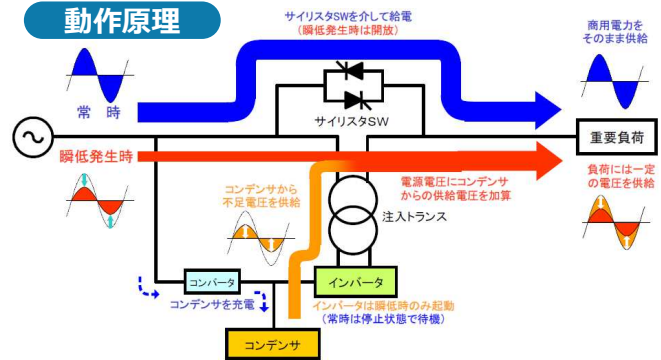


高品質な電源環境で瞬低を救済し生産性向上！

ユニセーフ・メガセーフの特長

- 99%以上の高効率性能により、運転損失を低減
- 重要設備回線を一括で補償

動作原理



適用事例

精密機械生産設備2,000kVAの瞬低を補償するため、高圧大容量瞬低対策（メガセーフ：定格3,000kVA）を導入



▶ 導入前

- 落雷や風雪により、年に数回起こる瞬時電圧低下（瞬低）で生産設備が停止し、不良品が発生する。
- 製造ラインの復旧に時間がかかる。

3~4回/年、800万円/回の損失が発生。

復旧に時間がかかり、納期に間に合わなくなることがある。

停電電源装置（UPS）は高価で設置スペースが大きく、メンテナンスが大変。

▶ 導入後

- 瞬低対策装置ユニセーフ・メガセーフが1~2秒※の瞬低を補償し、高品質な電源環境に貢献。
- 製造ラインが停止しなくなり稼働率がアップ。 ※電圧低下幅10~20%の場合

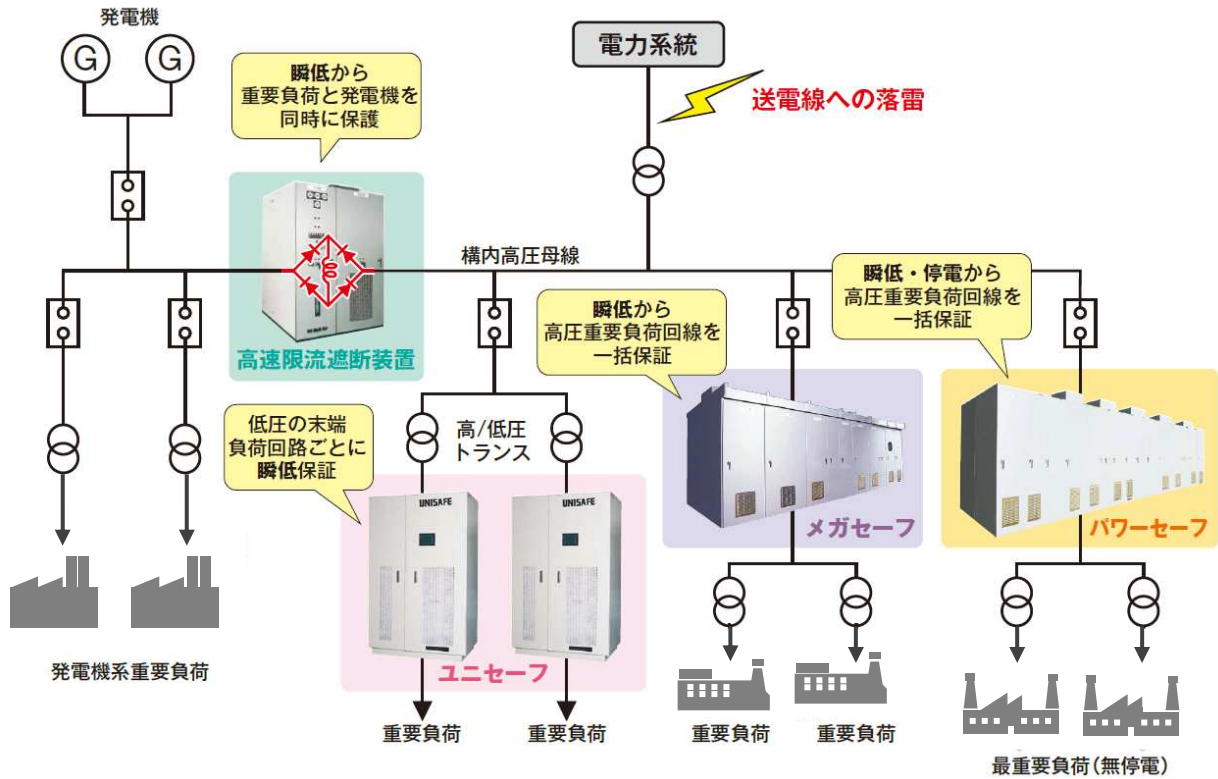
2,400~3,200万円/年の損失を低減！

納期遅延がなくなり顧客の信頼関係を維持、製造ライン稼働率も上昇！

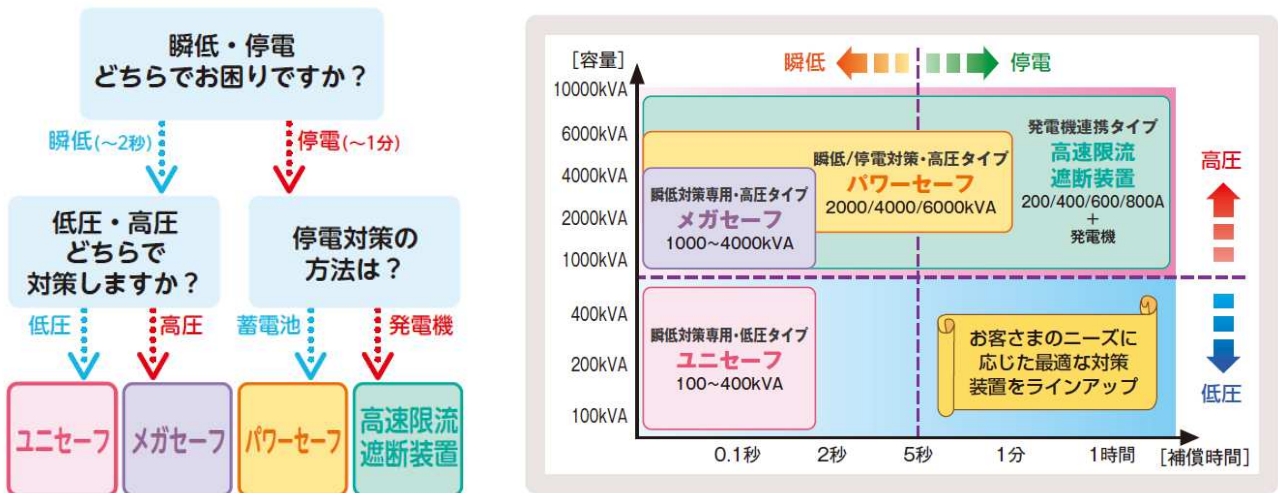
コンパクトに電気室に収納し、将来の増設スペースも確保！

幅広いラインアップと豊富な実績で最適な対策をご提案

① 用途・容量に応じた品揃え 1 1000kVA未満から10000kVA以上まで多種多様な設備に対応



② 豊富な経験で安心をご提供 2 30年以上の実績で多岐にわたるノウハウ蓄積



人と技術の未来をひらく

日新電機株式会社

〒615-8686 京都市右京区梅津高畝町47番地
 TEL (075) 861-3151 (代表) FAX (075) 864-8312 <https://nissin.jp/>

お問い合わせ先

電力・環境システム事業本部 産業営業部 東京支社 (03)6739-9702 中部支社(052)561-5513 関西支社(06)6444-7545